



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月12日

上場会社名 株式会社日本ピグメントホールディングス 上場取引所 東  
コード番号 4119 URL <https://www.pigment-hd.co.jp/>  
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 田代 喜一  
問合せ先責任者（役職名） 常務執行役員（氏名） 梶 英俊 TEL 03-6370-8412  
半期報告書提出予定日 2024年11月12日 配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	16,814	23.6	43	—	173	49.4	6,647	—
2024年3月期中間期	13,604	1.6	△10	—	116	52.7	16	△75.2

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 7,338百万円(916.6%) 2024年3月期中間期 721百万円(△17.8%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	4,235.25	—
2024年3月期中間期	10.19	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	46,084	23,396	46.7
2024年3月期	29,626	15,698	48.9

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 21,514百万円 2024年3月期 14,498百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	—	—	100.00	100.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	100.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	57.4	450	5.7	600	△7.5	7,000	—	4,459.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 5社 (社名) 日本ピグメント株式会社、株式会社  
PLASiST、上海金住色母料有限公司、除外 一社 (社名) 一  
住化佳良精細材料 (南通) 有限公司、  
大恭化学工業股份有限公司

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期中間期	1,575,899株	2024年3月期	1,575,899株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	6,299株	2024年3月期	6,272株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年3月期中間期	1,569,615株	2024年3月期中間期	1,569,751株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書 .....	6
中間連結包括利益計算書 .....	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、企業業績の回復や雇用・所得環境の改善などを背景に、景気は緩やかに回復し個人消費も回復傾向にあります。依然円安等の影響により国内のインフレ率は高い傾向にあり、エネルギーや食品の価格上昇が続いております。また、世界経済は、欧米諸国の金融引き締めによる世界経済の後退懸念や、地政学的リスクの長期化、中国経済の先行き懸念など不透明な情勢が続いております。

このような状況の下、当社グループにおいては、株式取得による連結対象会社の増加により、当中間連結会計期間の売上高は168億1千4百万円（前年同期比23.6%増）、経常利益は1億7千3百万円（前年同期比49.4%増）となりました。また株式取得に伴う負ののれん発生益68億2千2百万円の特別利益の計上や、海外連結子会社である天津碧美特工程塑料有限公司の関係会社整理損2億8千5百万円の特別損失の計上などにより、親会社株主に帰属する中間純利益は66億4千7百万円（前年同期親会社株主に帰属する中間純利益1千6百万円）となりました。

当社グループのセグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### 「日本」

国内部門別の概況として、前年同期比較としましては、樹脂コンパウンド部門では、主要の自動車用途において認証不正問題に伴う生産停止から一部製品で取り扱い数量減少の影響を受けましたが、連結対象会社の増加により合計数量では増加、また製造経費削減の効果もあり部門営業利益は昨年を上回りました。

樹脂用着色剤部門は、化粧品・トイレタリー向けで回復を見せ、一部の飲料用途が堅調なこともあり部門営業利益は昨年を上回りました。

加工カラー部門は、主要取引先の建材関係が堅調に推移し、液体分散体では低調であった中小型ディスプレイ用途が徐々に回復傾向にあり、部門営業利益は昨年を上回りました。

これらの結果、当中間連結会計期間の売上高は99億4千9百万円（前年同期比42.7%増）となりましたが、未だ取り扱い数量が回復途上であることや経営統合のための一時的な費用の計上もあり営業損失は1億円（前年同期営業損失1億2千1百万円）となりました。

#### 「東南アジア」

東南アジアは、中国向けをはじめとした各最終製品の需要低迷の影響を全般的に受けたことから当中間連結会計期間の売上高は57億9千8百万円（前年同期比9.5%減）となりました。一方で、販売構成の変化や為替等の影響並びに経費削減により営業利益は2億1千3百万円（前年同期比37.6%増）となりました。

#### 「中国」

中国は、株式取得による連結対象会社の増加により当中間連結会計期間の売上高は10億6千6百万円（前年同期比37.5%増）となりましたが、日系自動車販売の低調継続や中国国内の価格競争の激化により取り扱い数量が低迷し、営業損失は6千9百万円（前年同期営業損失4千3百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間の総資産は、株式取得による連結対象会社の増加により460億8千4百万円となり、前期末の296億2千6百万円に比べ164億5千7百万円の増加となりました。

資産のうち流動資産は255億5千7百万円と前期末の159億9千6百万円に比べ95億6千1百万円の増加となりました。この主な要因は、現金及び預金が11億4千万円、受取手形及び売掛金が46億2千5百万円、商品及び製品が18億8千6百万円、原材料及び貯蔵品が11億5千1百万円それぞれ増加したことなどによるものです。固定資産は205億2千6百万円と前期末の136億2千9百万円に比べ68億9千6百万円の増加となりました。この主な要因は建物及び構築物が13億9千1百万円、土地が10億5千2百万円、投資有価証券が38億9千9百万円増加したことなどによるものです。

負債合計は226億8千7百万円と前期末の139億2千8百万円に比べ87億5千9百万円の増加となりました。主な内訳としては、流動負債において、支払手形及び買掛金が36億1千万円増加したことなどによるものです。固定負債においては、繰延税金負債が8億9千6百万円、退職給付に係る負債が12億5千9百万円増加しております。

また純資産は233億9千6百万円と前期末の156億9千8百万円に比べ76億9千8百万円の増加となりました。この主な要因は利益剰余金が64億9千万円増加したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期における通期の連結業績予想につきましては、2024年8月9日に公表しました「第2四半期および通期連結業績予想の修正ならびに特別利益、特別損失の計上に関するお知らせ」に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,641,417	4,782,213
受取手形及び売掛金	6,754,193	11,379,513
商品及び製品	2,279,833	4,166,720
原材料及び貯蔵品	1,816,748	2,968,603
その他	1,505,280	2,264,057
貸倒引当金	△1,006	△3,400
流動資産合計	15,996,465	25,557,707
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,818,282	3,209,865
土地	3,553,556	4,606,095
その他(純額)	1,670,464	1,710,784
有形固定資産合計	7,042,302	9,526,746
無形固定資産	116,017	483,876
投資その他の資産		
投資有価証券	5,146,677	9,046,050
退職給付に係る資産	921,499	999,247
繰延税金資産	84,274	88,151
その他	322,805	385,819
貸倒引当金	△3,585	△3,585
投資その他の資産合計	6,471,671	10,515,683
固定資産合計	13,629,991	20,526,306
資産合計	29,626,457	46,084,014
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,272,526	9,883,334
短期借入金	2,320,709	3,604,812
未払法人税等	193,516	217,326
賞与引当金	175,414	376,046
関係会社整理損失引当金	—	183,347
その他	1,175,707	1,929,237
流動負債合計	10,137,874	16,194,105
固定負債		
長期借入金	2,495,965	2,549,432
繰延税金負債	797,779	1,694,745
退職給付に係る負債	423,592	1,683,568
資産除去債務	—	481,450
その他	72,996	84,454
固定負債合計	3,790,333	6,493,651
負債合計	13,928,208	22,687,757

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,481,159	1,481,159
資本剰余金	1,033,981	1,033,981
利益剰余金	10,250,225	16,740,976
自己株式	△19,029	△19,109
株主資本合計	12,746,336	19,237,007
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,675,365	1,535,231
為替換算調整勘定	△88,156	581,583
退職給付に係る調整累計額	164,905	160,684
その他の包括利益累計額合計	1,752,114	2,277,499
非支配株主持分	1,199,797	1,881,750
純資産合計	15,698,248	23,396,257
負債純資産合計	29,626,457	46,084,014

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	13,604,370	16,814,303
売上原価	11,959,488	14,467,730
売上総利益	1,644,882	2,346,572
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	288,401	385,620
人件費	628,282	971,898
貸倒引当金繰入額	44	△100
賞与引当金繰入額	53,609	93,691
退職給付費用	36,918	23,923
その他	648,084	828,232
販売費及び一般管理費合計	1,655,340	2,303,265
営業利益又は営業損失(△)	△10,458	43,306
営業外収益		
受取利息	7,514	11,367
受取配当金	48,715	60,591
持分法による投資利益	22,744	25,716
為替差益	45,575	25,722
その他	47,619	70,510
営業外収益合計	172,169	193,907
営業外費用		
支払利息	38,004	43,771
その他	7,642	20,083
営業外費用合計	45,647	63,854
経常利益	116,063	173,359
特別利益		
固定資産売却益	668	2,821
負ののれん発生益	—	6,822,009
特別利益合計	668	6,824,830
特別損失		
固定資産除売却損	964	34,882
関係会社整理損	—	285,666
特別損失合計	964	320,549
税金等調整前中間純利益	115,767	6,677,640
法人税、住民税及び事業税	45,907	52,825
法人税等調整額	13,089	△65,008
法人税等合計	58,996	△12,183
中間純利益	56,771	6,689,824
非支配株主に帰属する中間純利益	40,771	42,110
親会社株主に帰属する中間純利益	16,000	6,647,714

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	56,771	6,689,824
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	236,817	△140,134
為替換算調整勘定	358,285	560,469
退職給付に係る調整額	5,168	△3,689
持分法適用会社に対する持分相当額	64,845	232,237
その他の包括利益合計	665,116	648,882
中間包括利益	721,888	7,338,707
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	550,885	7,173,098
非支配株主に係る中間包括利益	171,003	165,608

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。なお、当該会計方針の変更による前中間連結会計期間の中間連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【報告セグメントの変更等に関する事項】

前連結会計年度より従来「その他」に含まれていた「中国」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法へ変更しております。

そのため、前中間連結会計期間のセグメント情報については変更後の区分により作成したものを記載しております。

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	中間連結 損益計算書 計上額 (注)
	日本	東南アジア	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,972,578	6,408,502	223,290	13,604,370	—	13,604,370
セグメント間の内部 売上高又は振替高	95,192	—	—	95,192	△95,192	—
計	7,067,770	6,408,502	223,290	13,699,563	△95,192	13,604,370
セグメント利益 又は損失(△)	△121,825	155,276	△43,909	△10,458	—	△10,458

(注) セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	中間連結 損益計算書 計上額 (注)
	日本	東南アジア	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,949,906	5,798,248	1,066,147	16,814,303	—	16,814,303
セグメント間の内部 売上高又は振替高	136,892	—	9,966	146,858	△146,858	—
計	10,086,799	5,798,248	1,076,113	16,961,161	△146,858	16,814,303
セグメント利益 又は損失(△)	△100,317	213,601	△69,976	43,306	—	43,306

(注) セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

当中間連結会計期間の日本セグメントにおいて、株式会社PLASiST(旧会社名 住化カラー株式会社)の株式を取得し同社を連結の範囲に含めたことにより負ののれん発生益を6,822,009千円計上しております。なお、負ののれん発生益は特別利益のため上記セグメント利益には含まれておりません。また、負ののれん発生益の金額は、当中間連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。